

製品安全データシート

【製造者情報】

会社名 : 株式会社アサヒ産業
住所(本社) : 東京都文京区本郷3-4-5
(埼玉工場) : 埼玉県川口市朝日4-2-1-62
担当部門 : 品質管理部
担当者 : 諸岡 厚志
電話番号 : 048-227-5121
FAX 番号 : 048-227-5122
緊急連絡先 : 同上

作成 平成17年09月26日

整理番号:32

【製品名】

商品名 : CRPテープ AG06
主な用途 : ダクトフランジ用ガスケット(耐薬品系統用)

【物質の特性】 単一製品・混合物の区分 : 単一

化学名 : PTFE
成分及び含有量:ポリテトラフルオロエチレン 100%
CAS No, 9002-84-0

【危険有害性の分類】

分類の名称 : 分類基準に該当しない。
危険性 : 分類基準に該当しない。
有害性 : 通常取り扱いでは有害性では無いが、長時間 260℃以上の高温に加熱すると、ポリマー・ヒューム熱の原因と考えられる微粒子状物質や安衛法、PRTR 法の指定化学物質に該当するものが発生する。
環境影響 : 分類基準に該当しない。

【応急措置】

目に入った場合 : 洗淨な水で最低 15 分間流すこと。充血や痛みが残る場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 水で洗淨する。
吸入した場合 : 切断粉などを多量に吸入した場合は、風通しのよい場所に移して静かに休養させ、直ちに医師の手当てを受ける。
加熱または燃焼などによって生じるヒュームを吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し、その後異常があれば医師の手当てを受ける。
飲みこんだ場合 : 多量に飲みこんだ場合は、医師の手当てを受ける。

【火災時の措置】

消火方法 : PTFEの熱分解により発生するガスに十分留意し空気呼

吸器ないし防毒マスクを着用して消火にあたる。
消化剤 : 散水、ドライケミカル、泡、炭酸ガス。
注意点 : PTFE 等のフッ素系樹脂は、高温にさらされるとヒューム
ガスを発生するので、火災時は吸入しないように風上に
避難する。

【漏出時の措置】 : 環境中に放出しないように、容器に回収する。回収品は、
別記廃棄法に基づいて処理する。

【取扱い及び保管上の注意】

取扱い : 取り扱う場所では必ず禁煙とする。
作業場所にタバコを持ち込まないのが望ましい。
加熱加工時の蒸気に振れる際には、ダスト、ミスト、煙除
去機能を持つ適切な呼吸保護マスクを着用する。
PTFE 等のフッ素樹脂を 260℃以上で使用又は加熱し
ないこと。それらのおそれがある場合は、換気の励行と
局所排気装置を設ける。
保管 : 35℃以上の高温での保管は避ける。下記及び高温源の
近くの保管は避ける。直射日光、高温多湿を避ける。

【曝露防止措置】

管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 : 設定されていない(日本産業衛生学会)。
設備対策 : 粉塵が作業場の空気を汚染しないように、局所排気装
置を設置、設備の密閉化を行う。取り扱い場所の近く
に手洗い、洗顔設備等を設ける。
保護具 : 呼吸用保護具……防塵マスク(国家検定品)。
: 保護眼鏡………則板付き普通眼鏡型またはゴー
グル型。
保護手袋 : ゴム手袋、ポリエチレン手袋等。
その他 : 保護衣、保護長靴。
注意点 : 260℃以上で使用又は加熱する場合は、換気の励行と
局所排気装置を設ける。

【物理／化学的性質及び安定性、反応性】

外観 : 柔らかい個体
臭気 : 無し
色相 : 白色
溶解度 : 水に不溶
揮発性 : 無し
安定性・反応性 : 通常の取り扱いにおいて反応しない
危険性 : 260℃以上で極めてゆっくりと熱分解を始める
400℃以上で熱分解速度が急速に増す。
熱分解によって次にあげる成分と温度レベルを示

す。

- テトラフルオロエチレン 430℃以上
- ヘキサフルオロプロピレン 440℃以上
- パーフルオロイソブチレン 470℃以上
- フッ化カルボニル 500℃以上

その他 : アルミニウム並びにマグネシウムなどの金属の粉末、フッ素(F₂)及び三フッ化塩素(CLF₃)のようなフッ素化合物といった酸化物と反応し、火災や爆発を起こすおそれがあります。

【有害性情報】

急性毒性 : 経口 ラット LD50 1, 250g/kg
がん性毒性 : 記載無し。
IARC(国際ガン研究機関)の分類ではグループ3。
加熱毒性 : PTFEは400℃以上で「HF」「COF₂」「C₂F₄」「C₃F₆」「C₂F(CF₃)₂」の成分生成が始まる。
このようなヒュームガスを吸入すると、約24時間継続するような熱、悪寒、咳のような一時的な流感に似た症状のポリマーヒューム熱を生じる恐れがある。
たとえば、フッ化水素のうち低濃度の場合、まず息苦しくなり咳が出て眼、鼻及び咽頭に重度の刺激が生じ、熱、悪寒が1～2日続いた後、呼吸困難、チアノーゼ及び肺水腫が起こる。
高濃度のフッ化水素に短期間及び長期に暴露すると肝臓及び腎臓を損傷する。

【環境影響情報】

分離性 : 知見なし
蓄積性 : 知見なし
魚毒性 : 知見なし

【輸送上の注意】

: 特に無いが取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

【廃棄上の注意】

: 埋め立てる場合は、[産廃業の処理および清掃に関する法律]に従って、処理する。
: 公認の産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合は、その団体に委託して処理する事も出来る。

【適用法令】

: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
: 労働安全衛生法、水質汚濁防止法、下水道法
: PTFEは、熱分解によって労働安全衛生法による通知対象の有害物質に該当するものが発生する。また、同時にPRTR法による指定化学物質が発生する。

【記載内容の取り扱い】

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な場合には、用途・用法に適した安全対策を施してご利用ください。

【その他】

記載内容の問い合わせ先、引用文献

- :急性毒性;Registry of Toxic Effects of Chemical Substances(1985)
- :刺激性 ;産業医学 33 277(1991) ACGIH(1988)
- :化審法 既存化学物質ハンドブック(1988)
- :株式会社 住化分析センター他、研究報告(1976)
- :財団法人 化学品検査協会編、化審法の既存化学物質安全性点検データ集
- :フッ素樹脂製品取り扱いマニュアル;日本弗素樹脂工業会
- :13599の化学商品;化学工業日報社
- :化学物質管理促進法対象物物質データ;化学工業日報社
- :労働安全衛生法MSDS対象物質全データ;化学工業日報社